

第3学年6組 道徳指導案

- 1 主題名 私の思い、家族の思い〔内容項目C―(14)：家族愛、家族生活の充実〕 (1時間完了)
(資料名 「延命治療」 出典：平成26年度人権作文 本校生徒作文)

2 ねらい

アルツハイマー型認知症を患った祖母の施設入所の際、祖母を思い、涙を流す「私」の気持ちを考えたり、自分自身や家族の「延命治療」について考えたりすることで、家族のことをより深く考え、家族への愛情を深めるとともに、家族の一員として、家族生活を充実させようという道徳的な実践意欲を高めることができる。

3 ねらいとする道徳的価値

本時で扱う内容項目「家族愛」は、人間にとって最も身近な「愛」の一つであり、特別なものであるといえる。一方で、家族は自分にとって身近な存在でありすぎるため、家族の思いや願いに目を向けられないこともある。特に中学生の時期は、思春期ということもあり、物事の考え方が自分本位になることが多く、家族に対して素直に愛情が表現できない生徒が多い。本題材を通して、家族に対する自分の思いや、自分自身に対する家族の思いに目を向け、家族について自分なりに思いをめぐらせたい。そして、家族の一員として、よりよい家族関係や家族生活を築いていこうとする意欲を高める姿を期待したい。

4 ねらいとする道徳的価値に関する生徒の実態と願い

(1) 学級について

本学級の生徒は、生徒同士がお互いに思いやりの気持ちをもって生活している。給食や清掃では、自分のことよりもまわりの仲間や学級全体のことを気かけ、行動する姿が見られる。一方で、自分に最も身近な存在である親や家族に対しては、中学3年生という年齢のわりに依存している様子が見られる。進路に関する書類を自分で準備や確認ができなかったり、忘れ物を保護者が取りに来たりする。家庭訪問や個別懇談会の際に、家族にわがままを言う姿も見られた。級友に対する言動に比べて、家族に対する言動に幼さを感じる。

そこで、本題材を通して「家族愛」について考え、自分の思いだけでなく、家族の思いや、家族の存在についての考えを深める。本時で扱う資料や、話し合い活動を通して、家族に対する自分の思いや、自分に対する家族の思いに目を向け、家族を大切にしよう、家族の一員としてよりよい家族関係や家族生活を築いていこうという意欲を高める姿を期待したい。

(2) 抽出生徒について

①抽出生徒Aについて

家族に対する愛情が大きく、家族のことが大好きな生徒である。事前アンケートでは「家族は本当に大切な存在である」と答えた。本人が家族のことが大好きであると同時に、家族からの愛情も十分感じている生徒であり、学校生活をのびのびと過ごす姿が見られる。道徳的価値の高いAを本時の授業の中で意図的指名をしたり、思いを語らせたりする場面を設定し、周囲の生徒にその考え方を広めるとともに、A自身がさらに家族への愛情を深め、家族の一員としてよりよい家族生活を築いていこうとする意欲を高める姿を期待している。

②抽出生徒Bについて

家族のありがたさを感じながらも、上手に愛情表現ができない生徒である。あまり家では母親と話さず、母親が部活動の最後の大会の期日を知ったのも1～2日前というほどである。本人は母親が何を考えているのか、また自分が母親に対してどう思っているのかなどを伝え合うことができていない。親子関係が悪かったり、敵対していたりするわけではないが、コミュニケーションがとてもしない。本時では、Bは延命治療について自分中心の考えをもつであろうと予測される。そこで「家族が認知症になったときに、あなたは延命治療に賛成か、反対か」と問いかける場や、授業の振り返りの場で、直接本人に声をかけ、家族に対して思いがどう変容していったかを評価していき

たい。

5 資料について

(1) 資料の概要

私が大好きだった祖母は、アルツハイマー型認知症になり、普通の生活ができなくなってしまった。以前の優しかった頃とは全く別の人格になってしまった祖母。そんな祖母の世話に苦しむ家族。ある日、母親が目を真っ赤にさせ、「おばあちゃんを施設に入れようと思う」と私に提案する。私は母親の顔を見られず、うなずくのが精一杯で、涙が止まらなかった。

入所の手続きの際、祖母の看取りをどうするかという書類を書くことができなかった。祖母の人柄を思い起こすと延命治療を望まないのではないか、そもそもそれを決める権利自体が自分にはないのではないかと迷い、苦悩する家族。結局白紙のまま用紙は提出された。

ある日、私はテレビ番組である男性の話を見た。その男性は、家族もいない、帰る自宅もない状態であるが、それでも「生きたい」と願っていた。その姿に「延命治療」についての考えをさらに深める私。答えはでない問題であるが、悩み続けるしかない、私は考えている。

(2) 「耳をすまして、学びを拓く」ための資料の生かし方

①資料との対話をさせるための手だて

「私」の思いにきちんと目を向けることができるよう、資料を前半と後半とに分割し、範読する。前半部分の範読後、祖母を施設に入れることを提案した母親の様子や、それに対して、うなずくのが精一杯だった「私」の心情を考えることで、祖母の気持ちを考えるとどうすべきなのかを悩み、葛藤する「私」の思いに迫る。「私」の希望や思いだけで簡単に決められるのではなく、祖母の思い、母親の思いを考えた上での「涙」であったことを押さえる。「家族」の思いを大切にしたい「私」に着目させる。

②他者との対話、自己内対話をさせるための手だて

後半部分の範読後、本時の中心的な話し合いを行う。基本発問として「自分が延命治療を必要とする状況になったら…」と問いかけ、自分の希望を出させる。多くの生徒は自分の希望に特化し、家族の思いに目を向ける生徒はほとんどいないだろうと予測される。そこで、延命治療に「反対」の立場の生徒に対して、補助発問「命を絶つという決断をしたあなたに対して、家族は何と言うだろう」と投げかけ、考えをゆさぶる。

その後、中心発問「家族が延命治療を必要とする状況になったら…」を問いかけ、生徒の考えをゆさぶる。ここでは多くの生徒は家族の存在に目を向け、家族の思いと自分の希望とを重ねながら、自分なりの考えをもつだろう。話し合いの中で「自分の延命治療には反対だが、家族の延命治療には賛成」という生徒を意図的に指名し、その考えのずれの理由や思いを語る場を設け、周囲の生徒が、より深い自己内対話ができるように支援する。

また、抽出生徒Aを意図的に指名し、Aの考えを聞き出すことで、「家族愛」についての考えを深めさせる。生徒同士の語り合いを通して、家族に思いをはせ、家族のことをより深く考える時間にする。

6 板書計画

<p>家族 延命治療</p> <p>祖母 アルツハイマー型認知症</p> <p>「涙が止まらなかった」ときの「私」はどんな気持ちだったのだろうか</p>	<p>自責 申し訳ない ・ごめん</p> <p>安心 ほっとする ・楽になる</p> <p>迷い 本筋にいいのか</p> <p>・まちがっているのではないか</p> <p>あなた自身がアルツハイマー型認知症になり、「延命治療」を必要となった場合、あなたは自分自身の「延命治療」に賛成ですか、反対ですか。</p>	<p>賛成 生きたい</p> <p>反対 家族に迷惑をかけるのがつらい</p> <p>・家族に負担をかけたくない</p> <p>家族がアルツハイマー型認知症になり、「延命治療」を必要となった場合、あなたは家族の「延命治療」に賛成ですか、反対ですか。</p>	<p>賛成 生きてほしい</p> <p>・一日でも長く一緒にいたい</p> <p>反対 見ているのがつらい</p> <p>・苦しい思い</p> <p>・命を奪う</p> <p>大切な家族だから</p>
---	--	--	--

7 本時の展開

時間	学 習 活 動	※教師支援 ☆評価
10	<p>あなたにとって「家族」とはどんな存在か。</p> <p>かけがえのない大切な存在。 うっとうしい存在。 あまり真剣に考えたことがない。</p> <p>○資料前半の範読を聞く。</p> <p>「涙が止まらなかった」とき、「私」はどんな気持ちだったのだろう。</p> <p>○相互指名で話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><自責 (①)> <安心> <迷い></p> <p>祖母に対して申し訳ない。</p> <p>自分の家に入れられないなんて、祖母がかわいそう。</p> <p>責任をもって祖母をみてあげられず、悔しい。</p> <p>これで自分たちは苦しみから解放される。</p> <p>これ以上、祖母とけんかにならずにすむだろう。</p> <p>祖母も嫌な思いをしなくてもすむだろう。</p> <p>祖母を施設に入れてしまっているのだろうか。</p> <p>自分たちの決断は間違っているのではないか。</p> <p>家族が離ればなれになってしまっているのかな。</p> </div>	<p>※事前アンケートで、家族に対してマイナスイメージをもつ生徒を意図的に指名することで、だれもが家族に対して不満を抱いていることを確認する。</p> <p>※「自責」「安心」「迷い」の3つのキーワードに分けて板書することで、生徒の思考を整理できるようにする。</p> <p>※「自責」の意見に偏った場合は「どうしようもなくホッとした」という「私」の心情を考えさせることで、心のどこかで安心した気持ちがあったことに気づかせる。 (①C:気づかせる)</p> <p>※「迷い」の意見をもつ生徒を意図的に指名することで、さまざまな思いからの涙であったことをおさえる。</p> <p>☆「私」の迷いを考えることができたか。 (発言、ワークシート)</p>
20	<p>○資料後半の範読を聞く。</p> <p>あなた自身がアルツハイマー認知症になり、「延命治療」が必要となった場合、あなたは自分自身の「延命治療」に賛成か、反対か。</p> <p>○相互指名で話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><賛成> <反対②></p> <p>命ある限り、精一杯生きたい。</p> <p>生きていられるのなら、延命治療を望む。</p> <p>できるだけ長く、家族と一緒にいたい。</p> <p>家族もそれを望むんじゃないかと思う。</p> <p>寿命に身を任せたい。</p> <p>家族に迷惑をかけるようなら、延命治療はしてほしくない。</p> <p>自分が自分でなくなってしまうのはつらい。</p> <p>そこまでして生きていくことに抵抗がある。</p> </div>	<p>※賛成はパー、反対はグーというハンドサインを示し、相互指名の際に活用する。</p> <p>※自分の希望のみに特化した意見を認めつつ、家族のことを考えた生徒の意見に着目させ、自分の希望のみを語る生徒にどう思うかを問いかけ、考えをゆさぶる。</p> <p>※延命治療に「反対」という生徒に対して、命を絶つという判断をするあなたに対して、家族は何と言うだろうかと問いかけ、考えをゆさぶる。 (②E:ゆさぶる)</p>
30	<p>家族がアルツハイマー認知症になり、「延命治療」を必要とする状況になった場合、あなたは家族の「延命治療」に賛成か、反対か。</p>	<p>※立場を変え、新たな視点で考えさせることで、自分がどうしたいかだけではなく「家族の思い」を考えられるようにする。</p>

	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">＜賛成＞</p> <p>命ある限り、精一杯生きていてほしい。</p> <p>病院なら最期まできちんと見てくれるから、安心してお願いできる。</p> <p>延命治療をしないということは、家族が本人の命を奪うことになるから、いやだ。</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">自分は延命治療をしてほしくないが、家族にはできるだけ長く生きていてほしい。(③)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">＜反対＞</p> <p>人として生きていけないみたいでかわいそうだから、延命治療には反対。</p> <p>家族の人格が変わってしまうのはいやだし、機械につながれている様子は見たくない。</p> <p>「迷惑をかけたくない」という本人の思いを大切にしたい。</p> <p>家族には苦しい思いをしてほしくない。</p> </div> </div>	<p>※「本人の思いに沿う」という意見に偏った場合は、その意見を認めつつ、アルツハイマー認知症の場合は本人の意思を確認することはできないことを伝え、家族の立場だったらどう判断するかを考えさせる。</p> <p>※「自分の延命治療には反対だが、家族の延命治療には賛成」という生徒を意図的に指名し、その考えのずれの理由を語らせることで、「家族」について考える視点に気づかせる。(③C:気づかせる)</p> <p>※抽出生徒Aを意図的に指名し、家族のAに対する思いや、Aの家族への思いを語らせることで、周囲の生徒が「家族愛」について考えを深められるようにする。(E:ゆさぶる)</p>
45	<p>○振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「家族について考えたことや思ったことを書く」と振り返りの視点を与えることで、家族への思いをはせ、よりよい家族関係を築いていこうという意欲を高める。</p> </div>	<p>※振り返りの際、机間指導で抽出生徒Bのところいき、本時を通して家族について考えを深めたか、まわりの人の意見を聞いてどう思ったかを問いかけ、ワークシートに記入するように声をかける。</p>
	<p>○振り返りを発表する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>こんなにも家族のことを考えたことがなかった。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>いろいろな話ができる家族でありたい。</p> </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>資料を読んだり、話し合ったりすることで、自分の家族のことをより深く考え、家族への愛情を深めるとともに、家族の一員として、よりよい家族生活を築いていこうとする姿</p> </div>	<p>※生徒の思いや考えを他に広げ、共感させるために、本時のねらいに迫る内容について書いている生徒を意図的に指名する。</p> <p>☆「延命治療」というテーマから、家族に思いをはせ、家族のことをより深く考えることができたか。(発言、ワークシート)</p>

授業の視点

- ① 「自分が延命治療を必要とする状況になった場合」と「家族が延命治療を必要とする状況になった場合」の2つの異なる視点で「延命治療」について考えることが、「家族愛」という道徳的価値を考えさせるうえで有効であったか。
- ② 中心発問の場において「自分の延命治療には反対だが、家族の延命治療には賛成」という生徒を意図的に指名し、その考えのずれの理由や本人の思いを語る場を設け、「家族」を思いやる視点を与え、周囲の生徒の考えをゆさぶる」という教師支援は、生徒の「家族愛」についての考えを深めるうえで有効であったか。